



## Press Release

2024年3月4日

報道関係者各位

会社名 第一三共株式会社  
代表者 代表取締役社長 奥澤 宏幸  
(コード番号 4568 東証プライム市場)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 朝倉 健太郎  
TEL 03-6225-1126

### ダトポタマブ デルクステカン(Dato-DXd/DS-1062)の欧州における 非扁平上皮非小細胞肺癌およびホルモン受容体陽性かつHER2陰性の転移性乳がんに係る 2つの承認申請受理について

第一三共株式会社(本社:東京都中央区、以下「当社」)は、ダトポタマブ デルクステカン(Dato-DXd/DS-1062、抗TROP2抗体薬物複合体(ADC)\*)について、局所進行または転移性の非扁平上皮非小細胞肺癌、およびホルモン受容体(以下「HR」)陽性かつHER2陰性(IHC 0, IHC 1+ または IHC 2+/ISH-)の手術不能または転移性乳がんに係る二次/三次治療を対象とした2つの販売承認申請が欧州医薬品庁(EMA)にて受理されましたので、お知らせいたします。

今回の2つの申請は、2023年10月開催の欧州臨床腫瘍学会(ESMO 2023)で発表された、Actionable 遺伝子変異の有無を問わず、前治療歴のある局所進行または転移性非小細胞肺癌患者を対象とした第3相臨床試験(TROPION-Lung01)、および化学療法の前治療歴のあるHR陽性かつHER2陰性の手術不能または転移性乳がん患者を対象とした第3相臨床試験(TROPION-Breast01)の結果に基づくものです。

当社は、非小細胞肺癌およびHR陽性かつHER2陰性の乳がん患者さんへ新たな治療の選択肢を提供することで、欧州のより多くのがん患者さんに貢献できるものと期待しております。

以上

\* 抗体薬物複合体(ADC)とは、抗体と薬物(低分子化合物)を適切なリンカーを介して結合させた薬剤で、がん細胞に発現している標的因子に結合する抗体を介して薬物をがん細胞へ直接届けることで、薬物の全身曝露を抑えつつがん細胞への攻撃力を高めています。

## 非小細胞肺癌について

欧州では、2022年に新たに約50万人が肺癌と診断されました。肺癌の約80%を占める非小細胞肺癌は、その約30%が扁平上皮がんで、約70%が非扁平上皮がん(腺がんと大細胞がんを含む)の組織型です。分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤は非小細胞肺癌に対する治療効果を改善しましたが、効果が見られない、または効果が見られてもその後病勢が進行するケースも多いため、新たな治療の選択肢が必要とされています。

TROP2は、複数の固形がんを高発現するタンパク質の一種で、肺癌の多くに発現しており、がんの進行や生存率の低下に関係していると言われています。現在、非小細胞肺癌患者を対象に承認されているTROP2を標的とした治療法はありません。

## HR陽性かつHER2陰性の乳がんについて

乳がんは、欧州で最も多く診断されるがんで、2022年には50万人以上が乳がんとして診断されました。HR(エストロゲン受容体および/またはプロゲステロン受容体)およびHER2の発現状況は、乳がんにおける予後や治療効果の重要な予測因子です。乳がん患者全体の65%以上を占めるHR陽性かつHER2陰性(IHC 0, IHC 1+ または IHC 2+/ISH-)の乳がんは、標準治療である内分泌療法において病勢が進行するケースも多いため、新たな治療の選択肢が必要とされています。

## ダトポタマブ デルクステカン(Dato-DXd/DS-1062)について

ダトポタマブ デルクステカン(Dato-DXd/DS-1062)は、がん細胞の細胞膜上に高発現する抗原 TROP2 と特異的に結合するヒト化モノクローナル抗体(札幌医科大学との共同研究)に、当社独自のリンカーを介してトポイソメラーゼ I 阻害剤(以下「DXd」)を結合させた薬剤で、1つの抗体につき約4個のDXdが結合しています。薬物をがん細胞内に直接届けることで、薬物の全身曝露を抑えるよう設計されています。

## 第一三共のDXd ADCパイプラインについて

第一三共のパイプラインには、現在、6つのDXd ADCが様々ながん種を対象とした臨床開発段階にあります。これらの薬剤は、がん細胞表面に発現する特定の抗原を標的とした抗体と、複数のトポイソメラーゼ I 阻害剤(DXd)をリンカーを介して結合させ、がん細胞の内部へDXdを届ける第一三共独自のDXd ADC技術を活用して創製されました。

トラスツズマブ デルクステカン(エンハーツ®、抗HER2 ADC)及びダトポタマブ デルクステカン(Dato-DXd/DS-1062、抗TROP2 ADC)は、全世界(当社が独占的権利を有する日本は除く)においてアストラゼネカと共同で開発及び商業化を進めています。パトリツマブ デルクステカン(HER3-DXd/U3-1402、抗HER3 ADC)、イフィナタマブ デルクステカン(I-DXd/DS-7300、抗B7-H3 ADC)及びDS-6000(R-DXd、抗CDH6 ADC)は、全世界(当社が独占的権利を有する日本は除く)においてMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAと共同で開発及び商業化を進めています。DS-3939(抗TA-MUC1 ADC)は当社が単独で開発を進めています。

なお、ダトポタマブ デルクステカン、パトリツマブ デルクステカン、イフィナタマブ デルクステカン、DS-6000及びDS-3939は、現在開発中の薬剤です。各国の規制当局による薬事承認は受けておらず、安全性と有効性はまだ確立されていません。